

慈恵園だより

第18号

■発行所■
 芦別市旭町28番地
 特別養護老人ホーム
 芦別慈恵園
 ■発行責任者■
 皆木辰吉
 ■印刷所■
 (有)ワタナベ企画いんさつ



クリスマス会
 サンタと御家族と一緒に



お正月
 初笑い美人にしてね

お正月も

クリスマス会楽しみました!

12月24日にデイサービスセンターで、25日に特養でクリスマス会を実施致しました。

当日は皆さんに楽しんで頂くとうと、キャンドルを灯したり、会場の飾り付けを工夫したり、職員もご利用者と一緒に演芸をしたりと、色々内容を企画しました。

また、ご家族も一緒に参加して下さった方もおり、とても賑やかでたのしいひと時を過ごせました。最後はクリスマスのご馳走と、自分たちで飾り付けたケーキを美味しくいただきました。

クリスマスが終わると、園内の雰囲気も一変してお正月モードです。こちらも利用者の皆さんが作った繻玉などでフロア内を飾り付け。三ヶ日の間はゲームをしたり、甘酒を飲んだりとゆったりしたお正月を過ごしました。今年も良い年であります様に!!

準個室について

自分だけの生活空間

四人部屋をリニューアル

ご利用者に、ゆっくりと落ち着いて生活して頂ける様に四人部屋の一部分にパーティションを設置し、プライベートスペースを作りました。これにより一人の空間が7.5㎡×8㎡になりました。床も利用者の状態にあわせクッションフロアにしました。

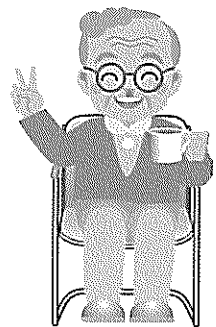
今まで、ご利用者は、部屋でいつも皆さんを見て生活をしていました。今回、個室の空間になり、初めは部屋の皆さんが見えなくて、不安になったり、環境にも慣れなくて居室とフロアを行ったり来たりしましたが、すぐに慣れて、自分だけの空間で時間も楽しんでいます。

何より、今までと違い自分で好きな様に生活を送れ、寝たい時にゆっくり休み、夜寝られない時も、ベッド上で起きていても、他の人に迷惑をかけないので、気兼ねなく自分のリズムで生活が出来る様です。

面会に来られた御家族は、「今までは居室の方に遠慮して落ちつかなかったが、パーティションで仕切る事により、個室と同じ様な感じがする」「ゆっくり話せ、長居が出来る」と好評の様です。

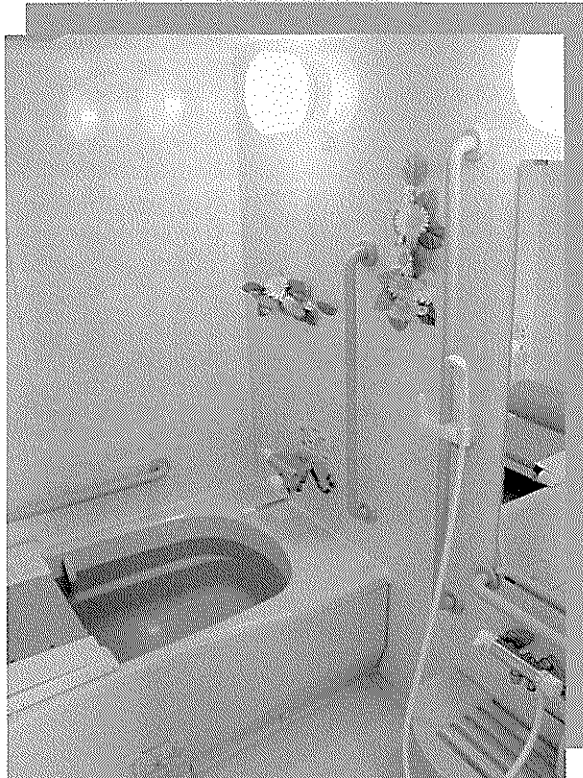
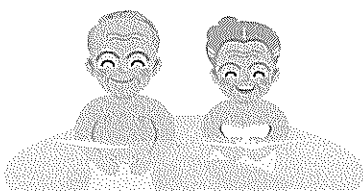
ご利用者も、「寂しくなるかと思っていたがそうでもなかった」「部屋の中で気にせず落ち着いて生活が出来る」と話され、四人部屋でありながら個人の空間がある事が、寂しくなく、自分のペースで生活出来る事を喜んでいる様です。

今後も、居室の検討を行い満足して頂ける生活空間を提供して行くつもりです。





さくら湯 … 笑顔も咲きました



十二月一日、特養に個別浴室さくら湯が開設されました。

さくら色の「のれん」をくぐり抜けると「さくら湯」があります。ご利用者一人ひとりに寄り添い係る中、従来の施設入浴の在り方に当り前の疑問「なぜ共同浴なのか？」との思いに施設全体で入浴の有り方を検討し「自分が入浴したいと思えるお風呂は？」と考えた事が、一人で寛げる浴室さくら湯の設置となりました。

ショートステイご利用者の方にも希望でさくら湯を利用して頂いていますが、家庭での入浴の様に気兼ねのない落ち着いた雰囲気、好評の声を多く頂いています。短期ご利用者が帰宅される際に、お迎えのご家族のお話の中でよく伺う言葉が「帰ってもお風呂に入れて上げたいと思っています」との声でした。そんなご家族の思いも面会時に一緒に入浴に参加して頂ける様になり、私達もそのお手伝いをさせて頂けることを喜んでおります。又、入浴を好まれないご利用者の方もさくら湯では、ご自分でお湯に手を入れ「ちようどいい」と温度を確認し、入られています。機械浴・一般浴では見られなかったご利用者の表情が「さくら湯」で咲いています。他に気兼ねなく、笑い声や歌が、聞えるなかで、ご利用者の笑顔をいっぱい咲かせたいです。

『食生活の改善に向けた取り組みについて』

～喫食率の向上を目指して～

施設福祉課長 川邊 弘美

ユニットケアの推進に対応した業務改善を行い、各フロアでの食事の提供の工夫や複式献立を実施し、個人のニーズを把握することで食事の喫食率を高め、利用者に満足感を持っていただける食生活の取り組みを行なった。

【具体的な取り組み】

○生化学データーに基づいて

(一)利用者の健康管理、栄養管理

①暑さ対策↓目標水分量

②便秘対策↓オリゴ糖の使用

③床ずれ予防↓プロテイン摂取

④骨そしよう症対策↓低脂肪牛乳

○各フロアの特徴を生かして

(二)ユニット食の導入

○行事食への取り組み

(三)複式献立の導入

①利用者の希望する献立↓居室訪問の充実

②職員と一緒に調理↓利用者の役割

③全職員で取り組む↓職種を超えて

④安価で提供↓調理担当者が買出しに行く

⑤ポランティアが支える

(四)食べられない利用者

①お粥で行事食を調理↓赤飯、おはぎ、寿司等

②食欲が増す料理とは↓食欲低下時の対応

③喫食率の向上↓体調の維持

【活動の成果と評価】

①個人に合せた栄養管理↓アルブミン値向上

栄養状態の把握

②入院者の減少↓前年度と比較して

③食欲の増進↓喫食率の向上

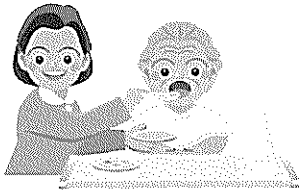
④利用者との信頼関係↓居室訪問を実施

⑤職員の資質向上↓フロア担当を決めて実施

なじみの関係を作り資質向上

【今後の課題】

居室訪問を充実させることにより、利用者が食欲低下時に何が食べられるか考え、少しでも口から食べて頂けるように工夫をすること。現在、園として取組んでいるターミナルケアについて、給食としての関わりを検討する。



去る、平成16年11月10日・11日に平成十六年度全国老人福祉施設研究会があり、園での取り組みを報告しました。

平成16年度全国老人福祉施設研究会 愛媛県松山市で開催

『生活の質の向上を目指して…』

ユニットケアを実践し感じる課題について 業務指導係長 和田 直樹

平成十四年十月からユニットケアを導入し、職員の増員や生活環境を見直し、整えて現在2年が経過してきていますが、ユニットケアを通して感じる、ご利用者の「生活の質」とは何か？ また、支援する「職員の質」とは何かと模索した。

【具体的な取り組み】

①職員の配置を介護職員だけで2.5対1に変更

②106名を4つのフロアから7つのフロアへ

③各会議、研修の充実

④介護業務を見直す

『排泄』：排尿間隔を確認し随時交換に。適したパットの使用

『食事』：各フロアの単位で食事をする。

食事をする環境の見直し↓食器の検討をフロアごと行う。水分補給(種類や方法の検討)・お茶ゼリー(オリゴ糖を

利用して排便を促す)の使用

『入浴』：月々土まで毎日入浴できる環境へ

皮膚の状態に合わせて入浴回数(二回〜毎日)の検討

マンツーマン入浴に変更・足浴等も実施

『生活』：行事の見直し(フロア行事を増やし、全体の行事について必要性を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)

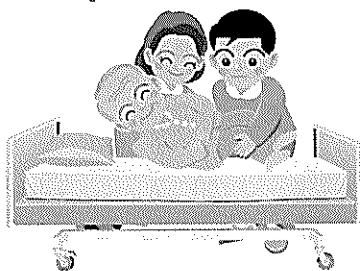
必要を検討する)

必要を検討する)

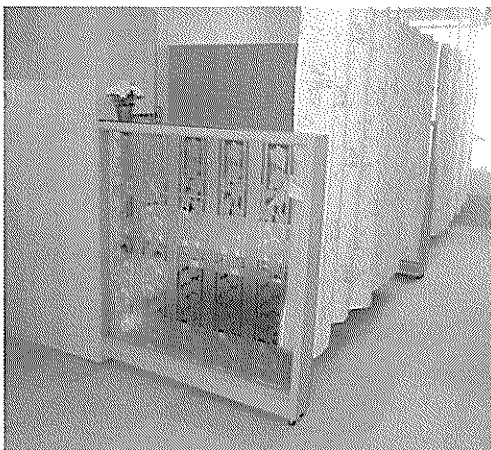
必要を検討する)

必要を検討する)

必要を検討する)



声の広場



準個室のお部屋になって

(入居者皆様の声)

- ◆お部屋が良くなって、家に居るようになります。皆と居るのでとてもいいです。
- ◆自分の場所に急に入ってくる人が居ないので安心して過ごせます。
- ◆お部屋はくつろげるようになって、とても気に入っています。その分、リビングで食事をして皆さんとテレビを楽しむ時間が増えました。
- ◆つい立(パーティーション)とカーテンで、向かいの人の顔が見えなくなつて少し寂しい気はしますが、慣れてきました。
- ◆とても良くなりました。家族が面会に来たときも、お部屋でお話することが多くなりました。

◆よく眠れるようになりました。準個室の中でゆっくり気兼ねしないで話ができるようになりました。

◆落ち着いた気分になるので、お部屋に居る時間が以前より増えました。その分、しっかりと体操やお菓子作りにも参加して、生活にメリハリができました。

◆テレビがゆつくり見られるようになりました。今度は壁に絵を掛けてもらう予定です。楽しみにしています。

スイートコーナー

(2階西フロア談話室)

◆ご面会のご家族とゆつくりお話しできる場所ができました。お正月には入居者の方とご家族とで甘酒を飲んでゆつくりと過ごされていました。



ユニットバス

「お風呂」ができて

◆銭湯気分に入れるお風呂と、一人でゆつくりできるお風呂が出来たので楽しみにしていました。

◆家のお風呂と同じように入浴できます。お部屋からは介護職員と身支度して行くので安心です。

(ショートステイご利用者)

松田 イツ 様

夕張で生まれ、結婚して歌志内に来ました。主人は炭鉱で働いていましたので苦労しないで生活できました。今は奈井江から声別に来て、娘が面会に来てくれるのが楽しみです。初めてのお正月を迎えましたが、雰囲気は家ほどではないですが楽しめました。

原田百合子 様

私は滝里で生まれて、声別で育ち、結婚後は西声別に住んでいました。夫は三井炭鉱で働いていました。自分も農家の田植えや稲刈りの手伝いをしたり、鉄工所で溶接の仕事をして暮らしてきました。夫は胃が丈夫ではなかったもので病気で亡くなりました。ただ、今は夫の残してくれた年金と自分で働いた年金があるので安心しています。お正月は家に帰りたいと思うこともありますが、ここでは皆さんとご飯を食べられるので楽しく過ごしています。



皆様が穏やかに、安心して過ごしていただけますように、職員一同努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

ご厚意ありがとうございました

平成十六年六月〜平成十六年十二月 敬称略

▽寄付金

- (芦別市) 井上光子、酒井英明、山下 彰
- (北見市) 勝山雄司

▽寄付物品

- (芦別市) J A 滝川芦別女性部、前田静子、西本三平、種本マツエ
- (室蘭市) 山本マキ子
- (赤平市) 野村和子
- (旭川市) 中川スミエ
- (札幌市) 石田嘉豊

▽ボランティア・訪問団体

- ともしび会、ボランティアアドんぐり、ボランティアふきのとう、美音の会、芦別少年少女合唱団、ナザレン教会、芦別子供太鼓、よさこいソーラン芦別、くでなし、阿部美苗、真田利恵子、西川千江子、山田睿子、佐藤 翠、大崎文子、竹井信子、末永優子、高田まゆ、今井雪絵、河合 環、峰下 遥



今年のおみくじは……
健康運は良、大吉を……！



懐かしい昔の映画はいいね、
みんなでビデオ鑑賞です。



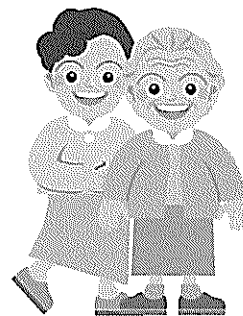
スタッフと楽しく昼食してま〜す。

デイサービス4月から

定員 24名へ

当デイサービスセンターでは、今年の4月1日より、定員を4名増やし24名になります。それは、デイサービスを利用したいという利用者様がたくさんいること、また現在利用している利用者様でも回数を多くしたいという希望があるなど、ニーズに対応していくためです。これに合わせて、職員の増員を行い、ケアの充実を図っていく計画です。例えば、今までは午前中だけで入浴していただいていたのですが、これからは午後も入浴時間にあてゆっくり入浴していただく。体操やリハビリを午前中の時間にも設け、機能訓練の充実を図る。個別の趣味や過ごし方に着目し、レクとして個別ケアの取り組みを行う。食事時にグループ化し職員と一緒に食事したり、ソファを用意しリラックスして体を休めるようにする等の家庭的な雰囲気を味わってもらい、などとなっております。また現在も行なっている作業レクでは、卵の殻を使った貼り絵に挑戦中ですが、利用者の皆様は作品を作る度に自信を持たれておりますので、これからもますます楽しみです。

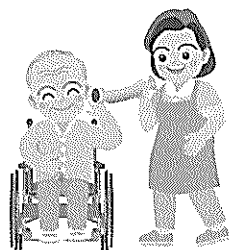
このように、利用者の皆様に、ゆったりとした時間を過ごしていただくように努めてまいります。そして職員も利用者の皆様と関わることを多くすることによって、皆様に喜んでもらえ、利用してよかったと言ってもらえるデイサービスにしていきたいと思います。



◎デイサービス利用者受付中

ご利用希望の方は随時受付けております。どうぞお申し込み下さい。

1日無料体験も行っています。 (初回の1回だけ無料で利用できます)



◎ボランティア募集しています。

興味のある方、元気を下さい。お待ちしております。

◎介護の事、わからないことは…!

ケアプラン相談センターへ聞いて下さい。

お申し込みは TEL. 4-2200へ

芦別慈恵園 デイサービスセンター

芦別慈恵園 在宅介護支援センター
芦別慈恵園 ケアプラン相談センター

在宅介護 支援センター

ケアプラン 相談センター

芦別慈恵園

当施設の居宅介護支援事業所である「芦別慈恵園ケアプラン相談センター」が開設してから、まもなく一年になります。現在、ケアマネージャーは一名体制で四十六名の利用者を担当いたしております。

相談内容は多岐に渡りますが、介護保険のサービスに関するものが最も多くなっています。介護保険のサービスを利用したいけれど、どこに相談したらよいか困っている方、どんなサービスがあるのか知りたい方など、どんなことでも結構ですので、ぜひご相談下さい。

当センターでの相談は、親切、丁寧、迅速にをモットーに行っております。まずはお電話頂ければお伺い致しますのでよろしくお願い致します。

相談電話 4-2200 番へ 担当 ケアマネージャー 小野 尚吾

芦別慈恵園在宅介護支援センターが開設して、はや二年が過ぎましたが、地域の皆様にはまだご存知ない方が多いのではないのでしょうか。

芦別慈恵園在宅介護支援センターでは、市民の皆様が安心して在宅生活を送れる様に少しでもお役に立ちたいと思い、今年度より、各地域の老人クラブにて、介護教室を行う予定です。内容としては、健康に関するお話や、自宅でも行える体操等を考えております。また、日頃不安に感じている事や、困った事がありましたらお聞かせ下さい。

さて、それ以外にもない、各地区の民生委員の皆様には日頃よりお世話になっておりますが、今年度はより一層何かとご協力を仰ぐ事が多々あるかと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

芦別慈恵園在宅介護支援センターは地域の皆様の為に努力してまいりますので、一人で悩まずいつでもお電話下さい。

相談電話 4-2200 番へ

相談員 大下美由紀

感染症対策

★インフルエンザ
★ノロウイルス

実施中!

当園では、感染症対策を実施し、 感染予防に努めております。

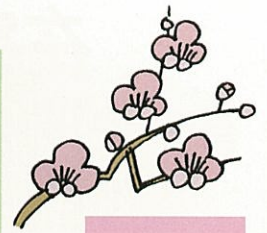
【インフルエンザ】… ご利用者(長期・短期・デイサービス)の皆様および職員に対し、インフルエンザ予防接種を実施。

【感染症予防】………… ご利用者およびご家族、職員対象

- マスクの着用および手指の消毒。
- 手洗い、うがいの励行。
- 風邪症状がある方(1週間以内)についてはご面会をお断りしております。
- 次亜塩素酸ナトリウムによる使用物品の消毒等。



ご家族と一緒にサンタさんありがとう！



行事写真



東フロア 園外散歩



複式献立 メニューはかぼちゃ団子



さあ、ゲームのはじまりですヨ！



上手に盛り付けできました



ボランティアと一緒に絵手紙作り

新しい年を迎え、今年が良い年であります様にと願い、何より健康第一にあとは気持と気力でどんな事も乗り切れると感じています。(K)

ユニットバス「さくら湯」がオープン！家での入浴と同じように、気兼ねなくゆつくりできると好評です。今後も個別ケアの充実を!! (I)

デイサービスの定員が24名になります。職員一致団結して利用者の皆様のために頑張ります。在宅介護支援センターも地域に開かれた施設としていきます。

(C)



編集後記



暑～い夏の日！ 園外会食